

## 発刊にあたって

岡山県は、北部には緑豊かな中国山地、南部には緑の島々に美しく彩られた穏やかな瀬戸内海が広がり、県土全体が多彩で豊かな自然環境に恵まれ、多くの野生動植物が生息・生育しています。

しかし、様々な人間活動や世界的な気候変動などにより、野生動植物の生息環境は影響を受け、本県においても野生動植物が絶滅の危機に瀕しているものもあることから、恵まれた郷土の自然を保護し、潤い豊かな環境を次の世代へと引き継いでいくことが課題となっています。

こうした中、本県では、「岡山県版レッドデータブック－絶滅のおそれのある野生生物－」を2003年に作成、2010年に改訂し、県内の動植物の実態を明らかにして保護の重要性の周知を図るとともに、岡山県希少野生動植物保護条例を制定し、指定した希少野生動植物の捕獲等を禁止するなど、県民の皆様との協働のもと保護対策を進めてまいりました。

岡山県版レッドデータブックは、前回の改訂以降、県内の野生動植物を取り巻く環境も変化していることから、野生動植物の分布や生息・生育状況に関する情報を調査・収集し、このたび改訂を行ったものです。

多くの県民の皆様に関心を持っていただくことが重要であり、本書が希少野生動植物保護の取組や事業活動の際の配慮すべき事項に関する基礎資料として、広く活用されることを期待しています。

終わりに、本書の作成に当たり、岡山県野生動植物調査検討会の委員、当検討会事務局の公益財団法人岡山県環境保全事業団をはじめ、多くの皆様方にご協力をいただきましたことに心からお礼を申し上げます。

令和2年（2020年）3月

岡山県環境文化部